



▲乗員は、係員1名と500冊の本

「知っている人は知っている。知らない人は知らない。」あたり前のことです。それでは、皆さん移動図書館をご存じでしょうか。本町で、移動図書館が始まったのは昭和四十二年でした。住民の読書欲を満たそうと、郡内でも初の試みでした。以来、十四年、今も続いています。

昭和四十二年に 移動図書館は誕生しました

つてきました。「おはよう。」「あつ〇〇さん、おはよう。」「この前借りた本を返します。何か新しい本が入りましたか。」「今回はまだなんですよ。近いうちに買いますので……」
このような会話を係員としながら、圖書の返却、貸し出しが行われました。この日の利用者は七名いつもより、ちよつと少なかつたようです。
よく利用するという皆川静子さん(寺地団地)にインタビューしてみました。
皆川「ええ。だいたい来るたびに利用しています。」
「やはり、便利だから？」

信頼で成り立つ図書活動

さて、移動図書館の他、総合体育館に図書室があります。図書活動をもう少し説明します。
問 本の利用方法は？
「本のカードに氏名を記入するだけです。移動図書館も図書室も同じ方法です。図書室の開館時間は朝九時から夜九時まで(月曜は五時まで)で日曜も休みません。」

問 何冊借りられますか。
「原則は一回、三冊までです。でも、利用者の中には、五、六冊借りていく人もいます。必ず、返却してくださいね。たくさん借りてもけっこうです。また、図書室から借りられる方は、必ず図書カードを窓口へ提出して下さい。」
(次ページに続く)



▶皆川さん

皆川「そうですね。簡単に借りられますし。」
「体育館の図書室は利用できますか。」
皆川「体育館に行った時について本を捜したりします。」
「読みたい本はありませんか。」
皆川「あんまりないんじゃないですか。もつと本がたくさんあると思います。」



▲このように利用する方で一杯。でも、いつもこんなにたくさんの方が利用しているわけではないのです。「読書の秋」。みなさん、もっと本町の図書施設を利用してはどうでしょうか。

「いよいよは黒埼町移動図書館のサービスです。本日、図書室へ出てみましょう。」
「皆さん、このサービスを聞いたことがありませんか。そうですね。移動図書館がサービスです。」

移動図書館が行く...

図書力

利用者から一言

日ごろ、よく利用されて「何かおもしろい本ある?」と話しかける人。今日初めて来て「どうやって借りるんですか?」と聞く人。いろいろな人にインタビューしてみました。

米倉礼子さん (焼酎団地)



体育館の方へは行けないので、来るたびに利用しています。借りる本は中間小説が多いです。わりにいろんな本が揃っていると思います。何よりも、気軽に借りられるところが良いと思います。県立図書館へはほとんど行ったことがありません。

倉橋義雄さん (焼酎団地)



自分では、本を読む方だと思っています。移動図書館もよく利用しています。黒埼も新潟市の表玄関なら図書館ぐらいい建てたらどうですかね。

三富知子さん (立仏小四年)



マンガも好きだけど、本も好きです。学校からも借ります。体育館の図書室はあんまり行ったことがありません。子供の読める本やいろんな本があると思います。